



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊部 幸顕

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長 (氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	41,216	9.2	4,681	70.5	4,641	71.3	2,927	69.0
23年3月期第3四半期	37,759	△0.6	2,745	94.5	2,709	88.4	1,732	130.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,677百万円 (6.4%) 23年3月期第3四半期 1,576百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	70.80	—
23年3月期第3四半期	41.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	76,208	29,227	38.2
23年3月期	73,779	28,423	38.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 29,091百万円 23年3月期 28,321百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	10.00	19.00
24年3月期	—	11.00	—		
24年3月期(予想)				11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,500	10.1	4,800	45.0	4,700	48.8	3,000	62.8	72.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	48,290,173 株	23年3月期	48,290,173 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	6,942,121 株	23年3月期	6,937,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	41,350,229 株	23年3月期3Q	41,362,652 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) その他の注記事項	9
5. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により停滞していた企業の生産活動が緩やかに持ち直しつつあるものの、企業収益や雇用情勢は依然として厳しい状況が続いており、さらには欧州諸国の金融危機や円高の進行など、景気の下振れリスクを内包した状況下で推移いたしました。

医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましては景気の先行き不安感などから個人消費が低迷するなど、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は412億16百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。一方、利益につきましては、海外連結子会社の収益の増加や新薬アサコールに牽引される売上高の増加等により、営業利益46億81百万円（前年同四半期比70.5%増）、経常利益46億41百万円（前年同四半期比71.3%増）、四半期純利益29億27百万円（前年同四半期比69.0%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の海外売上高比率は、13.15%（前年同四半期11.79%）となりました。セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、海外におきまして、ティロツツ・ファーマ社（Tillotts Pharma AG）の自販体制の推進等による営業力強化により引き続き売上を拡大いたしました。さらに、国内におきましても、平成23年1月より長期処方が可能となったことを受け、市場浸透に一層注力した結果、売上を拡大いたしました。また、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」も堅調に推移いたしました。H₂受容体拮抗剤「アシノン」などの製品は、市場競争の激化を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は243億22百万円（前年同四半期比9.5%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「コンドロイチン群」及び滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」につきましては、引き続き積極的にテレビCM及びそれに連動した店頭販売促進活動を実施したこともあり、順調に売上を拡大いたしました。また、滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」におきましては、平成23年11月より新たな販売ルートであるコンビニエンスストア向け新製品として「ヘパリーゼW」を発売いたしました。さらには、植物性便秘薬「ウィズワン群」も堅調に推移いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は167億29百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は1億64百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は762億8百万円となり、前連結会計年度末対比24億28百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が290億98百万円で、前連結会計年度末対比39億30百万円の増加、固定資産が471億9百万円で、前連結会計年度末対比15億2百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加6億27百万円、受取手形及び売掛金の増加20億66百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加9億88百万円等であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の減少3億24百万円、無形固定資産の減少4億90百万円、投資その他の資産の減少6億87百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は469億80百万円となり、前連結会計年度末対比16億25百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が253億66百万円で、前連結会計年度末対比46億23百万円の減少、固定負債が216億14百万円で、前連結会計年度末対比62億49百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加1億68百万円、短期借入金の減少63億72百万円、未払法人税等の増加6億55百万円等であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の増加63億81百万円、社債の減少1億円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は292億27百万円となり、前連結会計年度末対比8億3百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上29億27百万円、前期末配当の実施8億68百万円、その他有価証券評価差額金の減少9億58百万円、為替換算調整勘定の減少2億86百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.2%低下し、38.2%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、概ね計画通りに進捗していることから、前回発表いたしました通期連結業績予想からの変更はありません。

一方、利益面につきましては、第3四半期において経費が計画を下回ったことや海外子会社の業績が好調に推移したことにより、前回発表いたしました通期連結業績予想からは増加する見通しです。なお、第4四半期においては、当初の計画通り、研究開発費等の費用増加を見込んでいたため利益は微増にとどまる見通しであります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 54,500	百万円 3,900	百万円 3,800	百万円 2,500	円 銭 60.46
今回修正予想（B）	54,500	4,800	4,700	3,000	72.56
増減額（B－A）	—	900	900	500	—
増減率（％）	—	23.1	23.7	20.0	—
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	49,482	3,311	3,158	1,842	44.55

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,949,837	5,577,098
受取手形及び売掛金	12,309,222	14,375,893
有価証券	—	3,009
商品及び製品	2,710,728	3,573,218
仕掛品	578,596	677,356
原材料及び貯蔵品	1,944,720	1,972,113
その他	2,701,636	2,944,150
貸倒引当金	△27,331	△24,491
流動資産合計	25,167,411	29,098,349
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,570,238	6,510,169
土地	11,563,927	11,562,711
その他(純額)	3,403,607	3,140,614
有形固定資産合計	21,537,772	21,213,494
無形固定資産		
のれん	12,688,869	12,094,521
その他	1,241,044	1,345,028
無形固定資産合計	13,929,914	13,439,549
投資その他の資産		
投資有価証券	8,499,480	8,257,037
その他	4,710,269	4,265,269
貸倒引当金	△65,757	△65,686
投資その他の資産合計	13,143,992	12,456,620
固定資産合計	48,611,679	47,109,664
資産合計	73,779,090	76,208,014

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,364,705	3,532,905
短期借入金	19,943,994	13,571,498
1年内償還予定の社債	1,200,000	1,200,000
未払法人税等	823,403	1,478,659
賞与引当金	1,078,077	1,059,473
返品調整引当金	137,817	168,889
売上割戻引当金	228,495	253,945
災害損失引当金	79,889	—
その他	3,133,534	4,100,904
流動負債合計	29,989,916	25,366,277
固定負債		
社債	200,000	100,000
長期借入金	14,381,808	20,762,820
退職給付引当金	177,445	168,664
資産除去債務	71,761	72,236
その他	534,523	510,961
固定負債合計	15,365,539	21,614,682
負債合計	45,355,456	46,980,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	25,656,976	27,716,166
自己株式	△7,303,181	△7,308,676
株主資本合計	30,361,939	32,415,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,037,749	△2,996,316
繰延ヘッジ損益	15,115	△23,474
為替換算調整勘定	△17,836	△304,345
その他の包括利益累計額合計	△2,040,471	△3,324,135
少数株主持分	102,165	135,556
純資産合計	28,423,633	29,227,054
負債純資産合計	73,779,090	76,208,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	37,759,207	41,216,662
売上原価	14,184,048	14,186,744
売上総利益	23,575,159	27,029,917
返品調整引当金戻入額	169,984	137,817
返品調整引当金繰入額	197,305	168,889
差引売上総利益	23,547,838	26,998,845
販売費及び一般管理費	20,802,727	22,317,746
営業利益	2,745,110	4,681,099
営業外収益		
受取利息	2,952	4,655
受取配当金	226,853	268,481
出資金運用益	113,076	—
その他	126,792	59,155
営業外収益合計	469,675	332,291
営業外費用		
支払利息	215,561	222,144
シンジケートローン手数料	98,500	68,500
為替差損	149,258	23,569
その他	42,366	57,205
営業外費用合計	505,687	371,419
経常利益	2,709,099	4,641,971
特別利益		
固定資産売却益	17,669	166
投資有価証券売却益	—	32,172
貸倒引当金戻入額	6,980	—
清算配当金	—	55,258
特別利益合計	24,649	87,597
特別損失		
固定資産売却損	—	1,777
固定資産除却損	5,042	14,771
投資有価証券評価損	—	2,050
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	63,834	—
災害による損失	—	23,100
特別損失合計	68,877	41,700
税金等調整前四半期純利益	2,664,871	4,687,869
法人税等	932,091	1,720,166
少数株主損益調整前四半期純利益	1,732,779	2,967,702
少数株主利益	—	40,139
四半期純利益	1,732,779	2,927,563

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,732,779	2,967,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△282,100	△958,566
繰延ヘッジ損益	△5,617	△38,589
為替換算調整勘定	131,768	△293,258
その他の包括利益合計	△155,949	△1,290,414
四半期包括利益	1,576,830	1,677,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,576,830	1,643,898
少数株主に係る四半期包括利益	—	33,390

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,221,241	15,368,225	37,589,467	169,740	37,759,207	—	37,759,207
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	166	166	233,427	233,594	△233,594	—
計	22,221,241	15,368,391	37,589,633	403,168	37,992,801	△233,594	37,759,207
セグメント利益	4,171,749	1,888,331	6,060,080	98,665	6,158,745	△3,413,634	2,745,110

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,413,634千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,322,636	16,729,873	41,052,509	164,152	41,216,662	—	41,216,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	114	114	289,620	289,735	△289,735	—
計	24,322,636	16,729,987	41,052,624	453,773	41,506,397	△289,735	41,216,662
セグメント利益	5,579,871	2,666,272	8,246,144	124,370	8,370,514	△3,689,415	4,681,099

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,689,415千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。
(法人税率の変更等による影響) 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。 この税率変更により、当第3四半期連結累計期間における未払法人税等は186,678千円増加し、法人税等は同額増加しております。

5. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	24,322,636	9.5
コンシューマーヘルスケア事業	16,729,873	8.9
報告セグメント計	41,052,509	9.2
その他	164,152	△3.3
合計	41,216,662	9.2

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成24年2月7日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品 予定製品名 アコファイド
フェーズⅢ	Z-103/ ポラブレジンク	自社	味覚障害 プロマック効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅠ/Ⅱ	Z-208/ タミバロテン	共同開発 (テムリック)	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請準備中	Z-521	自社	低リン血症性くる病	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾患用医薬品指定 申請中	自社品
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌 アンサー効能追加	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮 作用 エタノール・ ステロイド配合剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認 (韓国)	Z-103/ ポラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍 プロマック	胃粘膜保護作用	導入品
フェーズⅢ (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎 アサコール	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善 作用	自社品
フェーズⅡ準備中 (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品 : 自社グループオリジナル品